

第 4 回 宗像市総合スポーツセンター整備審議会
議事録（要点）（案）

日	時	平成 27 年 5 月 22 日（金） 15:00～
会	場	宗像市役所本館 3 階 第 2 委員会室
出席者	委 員	榊原 西岡 梅田 大羽 北村 佐々木 田崎
	事務局	【宗像市】福崎部長（市民協働環境部） 鶴部長（文化スポーツ担当部長） 【宗像市（文化スポーツ課総合スポーツセンター建設準備室）】 磯部理事兼室長 大塚係長 中村 【宗像市（建築課）】中村課長 【東畑建築事務所】八尋主管 西園

- 【凡例】 ● 行われた事柄
 ・ 事務局による説明の内容
 ◆ 審議による決定事項
 ■ 委員からの意見等

1 会長あいさつ

- 榊原会長があいさつを行った。

2 前回議事録の承認

- ◆ 前回議事録（資料 1：第 3 回 宗像市総合スポーツセンター整備審議会 議事録（要点）（案））は、修正もなく、承認された。
- ・ 第 4 回審議会の開催が延期となっていたことについてお詫びと説明を行った。

3 議事

（1）総合スポーツセンターの基本構想について

- 「資料 2：宗像市総合スポーツセンター基本構想」に基づいて、宗像市総合スポーツセンター基本構想の内容について説明を行った。
- ・ 前回の審議会で大方の審議はいただいたが、その中で指摘事項が 2 ヶ所あったので、その点について説明する。
- ・ 1 点目は、5 ページの施設整備方針の（1）「宗像のスポーツの中核拠点となるスポーツセンター」の実現に向けての中に、「観る」スポーツの拠点づくりとあることから、4 ページの総合スポーツセンターの必要性にも、スポーツ観光の記述を入れ、施設整備方針に繋げてはどうかという話が出ていた。今回、必要性の（2）に書いてあるとおり、「スポーツ観光にもつながる大会開催等『観るスポーツ』機会の提供となる施設づくりが必要」という文言を追加している。

- ・ 2点目は、4ページの必要性の(4)で、前回は「中学校、高等学校で武道が必修化となり、今後の利用者増が見込まれることから、武道が安全にできる施設づくりが必要」としていたが、必修化によって利用者が増えるという点に疑問があるという意見が出ていた。この部分を、「中学校で武道が必修となり、子どもの武道体験促進や指導者養成等、武道が安全にできる施設づくりが必要」という文言に修正している。
- 宗像市総合スポーツセンター基本構想の修正箇所および内容全般について異議もなく成案として承認された。

(2) 総合スポーツセンターの基本計画について

- 「資料3：基本計画目次」に基づいて、基本計画の全体構成について説明を行った。
- ・ 基本計画については、第4回から第6回までの審議会で審議いただく。
- ・ 本日の第4回の審議会では、Ⅲ敷地の条件からⅣ施設計画の3計画規模までとⅤ計画案の建物構成までを審議いただく。
- ・ 第5回の審議会では、Ⅳ施設計画の4構造計画から6その他計画までと、これらの結果も踏まえたところで、Ⅵとして概算工事費を出し、審議いただく予定である。
- ・ 第6回の審議会では、Ⅶ管理運営方針とⅧ事業方式・事業スケジュールを審議いただき、最終的な総合スポーツセンター基本構想・基本計画の成果物の形で提示したいと考えている。
- 「資料4：敷地の条件」に基づいて、本敷地の計画条件について説明を行った。
- ・ 前回の審議会でも提示したが、構成を一部変更し、3として「駐車場用地を含めた整備区域について」を入れている。1の建設予定地の選定経緯と3の駐車場用地を含めた整備区域については、市内部で検討した項目であり、その結果を記載している。
- 「資料5：各部施設計画」、「資料6-2：総合スポーツセンターの主要室の考え方について」に基づいて、各部施設計画の内容および、各スペースの面積や長さの根拠について説明した。
- ・ 各部施設計画については前回の審議会でも提示したが、その中で指摘のあった体操・新体操のメインアリーナでのコート使用例を追加している。これ以外には、文章の細かい部分について、追加、修正等を行っている。
- ・ 前回の審議会では、各スペースの長さ、面積の根拠となるものは詳しく説明をしていなかったもので、資料で補足説明する。
- ・ メインアリーナについては、バスケットボールを基準にすると、市民体育館と勤労者体育センターを一つに統合したものになる。長辺については、理想としては69m必要になるが、バスケットボールの試合実態や市バスケットボール協会との協議結果を踏まえ、61mとしている。短辺については、安全性を考慮したバスケットボール協会推奨の距離は38mとなっているが、青年層のフットサル需要を踏まえ、41mとしている。
- ・ サブアリーナについては、玄海B&G海洋センターと同規模の32m×22mとしている。
- ・ 多目的室Aについては、市民体育館の体育室Cが14m×13mと手狭であり、柔

道の正式コート15m×15mも満たしていない現状も踏まえ、柔道場と剣道場の正式コート各1面が確保でき、各種教室もできる広さを確保した33m×19mとしている。

- ・ 多目的室Bについては、卓球利用をメインとしており、市民体育館の体育室A・B両室と同等の広さ32m×18mとしている。
- ・ 弓道場については、近的競技のみとしている。八所宮の弓道場の射場が5人立ちで、競技者間の距離が1.5mしか確保していないことから、総合スポーツセンターは競技大会も行いやすい6人立ちで、正式な競技者間の距離を1.8m確保し、20m×28mとしている。
- ・ 観客席については、市民のスポーツ大会の開催実態を踏まえ、応援者や選手控室として観客席を1,000席確保している。
- ・ 冷暖房設備については、メインアリーナは大型の冷暖房設備を設置することになり、機械室を設ける必要がある。快適で安全なスポーツ実施環境を整えるため、各スペースに冷暖房設備を整備するようにしている。
- 「資料6：計画規模（概数）」「資料8：建物構成比較表」「資料9：各階平面図[参考]」に基づいて、各スペースの必要面積の算定方法および建物の全体構成、各資料の関連性について説明を行った。
- ・ 「資料6：計画規模（概数）」は「資料5：各部施設計画」においてまとめた想定競技種目と各スペースに求められる機能を整理したものである。
- ・ 「資料8：建物構成比較表」は「資料5：各部施設計画」「資料6：計画規模（概数）」をもとに建物の全体構成を示すゾーニング図をA～C案までの3案作成したものである。
- ・ 資料9「各階平面図」は「資料8：建物構成比較表」のA～C案までに対応した平面図を、参考として作成したものである。
- ・ 資料8で「競技部門」「競技附属部門」「観覧部門」「管理部門」「共用部門」の各スペースをゾーニング図に落とし込み、その結果を資料9の平面図で具体的に問題がないか確認し、これをもとに各スペースの必要面積を出したものが資料6である。

＜総合スポーツセンター基本計画に関する意見＞

- 会長 基本計画の内容や資料に関する意見を出していただきたい。
- A委員 メインアリーナの軸は南北方向、東西方向と変わっても問題ないか。軸の設定によって全体計画が決まってくる。
- ⇒事務局 基本的には、卓球、バドミントン、バレー、バスケットボールなどの競技は暗幕を設置して、直射日光を遮った状態で競技を行う。また、風の影響を受ける競技もあるので、冷暖房設備のある体育館は窓を閉め切った状態で大会等を行う。そのため、メインアリーナの軸については特段の配慮は必要ないと思う。
- A委員 駐車場用地について整備区域図に示している範囲に将来的に相当台数の駐車場が整備されると考えてよい。
- ⇒事務局 正確な範囲については現段階では示せないが、必要台数に応じた駐車場が整

備されると考えてよい。新たな多目的広場と総合スポーツセンター用の駐車場を整備する必要があると考えている。

- ⇒ A 委員 総合スポーツセンターは4m掘り込む計画としているので、資料9のA～C案では西側の並木通りからのアプローチを意識しているが、東側に駐車場が整備されることや宗像ユリックスからのアクセスを考えるとエントランスの位置を西側だけにこだわってはいけないと考える。むしろ、東西に両正面を配して、人が自由に歩ける遊歩道のような、建物を貫通する動線を設けるという考え方もある。
- ⇒ 事務局 資料8、資料9は、あくまで、建物の各競技スペースに必要な面積を確保した際のそれに付随する通路やエントランスホール、器具庫などの面積を算出するためのものであるということをご理解いただきたい。A委員からご指摘いただいた内容については基本設計の段階で盛り込んでいきたいと考えているが、現段階で意見を挙げていただくことは有意義なことだと思うので積極的に出していただきたい。
- B 委員 資料を見て感じたのは、駐車場ないしは建物へのアプローチが決まらないことには平面計画は変わってしまうということである。与条件は想定でもある程度は固定しないと平面計画に変更や不備が出てしまうのでないかと思った。
- A 委員 床面積の合計が10,000㎡というのは、アリーナや弓道場といった必要なスペースに、廊下などの付随するものを加えて10,000㎡となっているが、この数字については議会等で既に出ているものなのか。
- ⇒ 事務局 ワークショップを開催した際には、要望を全て満たそうとすると約16,000㎡になった経緯がある。面積を増やすということは財源が伴ってくるので、コストも抑えつつ、一定の要件を満たしていくためには10,000㎡というのがひとつの目処ではないかと考えている。また、基本構想・基本計画での延べ床面積10,000㎡というのは議員に対して説明を行い、周知している。
- C 委員 審議会として基本構想・基本計画をまとめるためには建物だけではなく、周辺施設や人の流れなどさまざまなことを検討しなければならないが、まず、この施設の規模が決定しなければ先に進まないと考えている。規模が適正なのかどうかを審議会としての意見としてまとめて、アリーナの向きなどはその後の議論としてはどうか。様々な意見ばかり出しては議論が協道に逸れてしまっていて決まるものも決まらない。
- ⇒ 会長 延べ床面積10,000㎡については、当審議会としても合意に達して、市の議会にも説明していると認識している。したがって、10,000㎡でよりよい市民のための施設を考えていくというようなコンセプトで当審議会を進めたい。
- ⇒ C 委員 細かい面積は分からないが、全体規模は適正で、コート面の数等を見ると非常にすばらしい施設になると考える。もちろん、宗像市の施設なので市民が使いやすい施設であることが一番であるが、福岡県全体のことを考えると、大規模な体育館というのは現在、福岡市のアクシオン福岡と北九州市の総合

体育館のみで、数年後に久留米市に 1 館完成する。その 3 館で大規模な大会を回すことを考えると、福岡市と北九州市の間に位置する宗像市に総合スポーツセンターが完成すれば、4 館で大規模な大会を回すことができるので、県内の大会だけでなく、九州大会以上の大会を福岡県に誘致するキャパシティが増える。特に、体操競技については大きな大会ができるのは福岡市のアクシオン福岡と北九州市の総合体育館のみである。宗像市総合スポーツセンターが体操競技もできる機材も入れてもらえれば非常にありがたい。

⇒ A 委員 延べ床面積 10,000㎡というのは、必要な競技スペースに廊下や予備的なスペースも含めて 10,000㎡に納まると捉えてよいか。単に部屋名を羅列しているだけでは後々大変なことになる。

⇒ 事務局 まず、必要な競技スペースの面積を出して、それに必要な管理部門や共用部門の面積を出しており、何とか 10,000㎡に納まると考えている。交流スペースを含めたエントランスホールをもっと広く設けた方がいいといったことや、大規模レベルの大会を想定して観客席をもっと増やした方がいいという意見もあるが、10,000㎡の中で、何とか対応可能であると考えている。

■ A 委員 資料 8、資料 9 が分かりやすいのでこの資料をもとに議論してもよいのではないかと思う。

■ D 委員 他施設で行われた県大会レベルの大会での参加者、入場者数を見込んだ上で人の流れのシミュレーションを行ってはどうかと思う。現在の計画の中でバスの搬入がスムーズに行えるのか、エントランスホールの位置、大きさが適正か、検討してはどうかと思う。

⇒ 事務局 バスについては、駐車場に停車して選手が歩いて入館する場合もあれば、会場の入り口までバスを寄り付けて選手を下ろしてから駐車場にバスが行く場合もある。そのあたりを柔軟に対応できるように事務局で検討したい。

■ A 委員 敷地にレベル差があるので簡単な敷地模型があると検討しやすい。

■ 会長 本日は、特に敷地条件や計画規模についてご意見をいただきたい。

⇒ 事務局 本日は、第一に計画規模について審議いただきたい。計画規模が決まれば、建物の配置レイアウト等が検討できるのではないかと思う。

■ 会長 本日、欠席している鈴木委員からあらかじめ質問・意見をいただいている。基本計画に関しては、エントランスホールおよび事務室の位置について、器具の搬入について、キッズルームについて、会議室等について、避難者支援機能について、施設の利用を通じた交流について、等のご意見をいただいている。これらの意見についても記憶に留めていただきたい。

■ 会長 資料 6：計画規模（概数）については各アリーナ、室の大きさ、用途等、成案に近い審議を頂戴したい。全体規模 10,000㎡というのはほぼ固まりつつある。その中で、市民の充実した利用ができるか、市外の方も大会等で利用できるか。資料を見るとかなり精査されて全体規模が設定されていると思う。

⇒ D 委員 資料 6 の中で、メインアリーナ、サブアリーナ等については室の広さについ

て〇m×〇mという形で記載があるが、会議室も同様に入れたほうがよい。共用部分についてはトイレをはじめ、障害を持った方に対するアプローチを文言として入れてはどうか。例えば、点字付きの手すり、非常時用のランプの設置など。

⇒事務局 第5回審議会の審議内容の中に、バリアフリー・ユニバーサルデザインという項目がある。ご指摘いただいた点はこの項目に深く関わってくると思うので次回審議内容に合わせて、計画規模（概数）の中で記載した方がよいのか、バリアフリー・ユニバーサルデザインの中で記載した方がよいのか、事務局で検討し、次回審議会で提案したい。

■B委員 可動式の観客席の導入の検討との記載があるが、その観客席の収納スペースや式典等が行われる際の、床シートやテーブル、イスなどの収納は考慮されているか。

⇒事務局 可動式の観客席については、導入の検討という程度に留めているため、現在の基本計画の中には盛り込んでいない。スポーツに関する式典等については検討している。テーブルやイス等については、設けている器具庫で十分に賄えると考えている。また、式典時には会議室等にあるテーブル、イスをメインアリーナに移動させるということも考えられる。そのため、式典用のテーブル、イス等専用の器具庫というのは設けていない。アリーナにイスをずらっと並べるような式典については、リース・レンタル等、主催者の持ち込みで行うことが想定される。あらかじめ、テーブル、イスを用意しておくことは想定していない。

⇒会長 講堂的な利用であれば宗像ユリックスがある。スポーツイベントのためのメインアリーナというコンセプトである。

■C委員 観客席の下を利用して器具庫を設けると思うが、小さなものから大きなものまで含めて、かなりのスペースが必要になる。また、その器具庫からメインアリーナ、サブアリーナへの器具の搬入のしやすさ、外部からの大きな機材の搬入のしやすさも想定して計画に盛り込んでいただきたい。1,000人規模の大会を開催した際に、大会が始まる前の朝など、利用者が集中する時間帯に今想定されているエントランスホールの広さで収容できるか不安である。市民の交流スペースをエントランスホールに含めるとさらに動線が狭くなるので、そのことも想定いただきたい。この施設でスポーツ情報を発信することも検討してはどうか。

■A委員 例えば、劇場の場合は大ホールと小ホールの前にホワイエがあり、そのホワイエを繋げたロビーが配されている。体育館も基本的には同じ考え方である。各アリーナや多目的室にロビー的な空間があって、それがエントランスホールに繋がっている。体育館の場合はそのロビー的な空間とエントランスホールが一体でもよいがその代わりにエントランスホールは十分な広さを確保する。そのスペースでスポーツ情報の発信を行えばよい。そうすれば自ずとどのようなプランが良いかが分かってくる。器具庫はあればあるほどよい。観客席下などを重層的にうまく使っていきたい。それによって、床面積が多少

のプラスになったとしても、工事費としては多少の増で済む場合もある。

あまりにも延べ床面積 10,000㎡にがんじがらめになるのではなくて、使いやすく望ましい施設づくりを目指したほうがよい。

⇒事務局 ゾーニングや動線の部分にも話が及んでいるが、エントランスホールの広さは別として、4mの段差を活かして、スポーツ大会の際の選手と観客の動線の分離ができていてスムーズな人の流れになっていると考えている。

⇒A委員 ある程度の幅のエントランスホールとある程度の幅の階段があれば、それも、観客の動線として利用してもよい。

■E委員 観客席の通路は、中学校、高等学校の大会などでは、応援団同士が入れ替わるということがおきるが、市民体育館レベルの通路幅だと離合がかなり難しい。総合スポーツセンター観客席の通路は離合が可能なのか心配である。障がい者の方々が多く応援に来た場合に通路幅が充分か心配である。

⇒事務局 観客席の周りには通路が確保されており、観客同士の入れ替わりに充分対応可能な空間になっていると考えている。また、以前の審議会で話が挙がったが、観客席からアリーナに直接降りられる階段についても重要で、検討が必要だと考えている。

■E委員 入口については、安全上、防犯上は色々な場所にあった方がよいのか、何ヶ所かに絞ったほうがよいのか、どのような考え方で入口の数を設定しているのか。

⇒事務局 色々なパターンの体育館があるが、基本的には大きな入口は2カ所、もしくは3ヶ所、それ以外に職員の通用口等が必要である。基本設計を行っていく中で専門的な知見から適切な位置、数の入口を設置する。

■A委員 スケール感覚が掴みにくいのが、施設が大きいので施設外を回ってメインエントランスにアクセスするというのは考えにくい。

■C委員 駐車台数についてはある程度算定しているか。

⇒事務局 現在は、多目的広場に約260台、多目的広場に上がってくる駐車場に約1000台が駐車できる。総合スポーツセンター建設に当たっては、新たに合計400～500台の駐車台数を確保する必要があると考えている。宗像ユリックスでの文化イベントの際には、多目的広場および隣接の駐車場はほぼ満車状態である。宗像ユリックスでの文化イベントと総合スポーツセンターのスポーツイベントが被らないように相互利用できるように調整が必要である。スポーツ大会の規模にも幅があるので、必ずしも常に満車状態というわけではない。県レベル、九州レベルの大会を開催する場合は宗像ユリックスの文化事業との調整は充分に可能だと考えている。

⇒C委員 アクション福岡は駐車台数が約350台程度で、施設の規模からすると少ない。アクション福岡でも大きな大会が重なると駐車場はパンクしてしまう。大体のスポーツイベント、文化イベントは土日祝日に開催されるのでイベントが重なって他の駐車場を借りようと思ってもそちらもイベントが入っていて借りられないということになる。宗像ユリックス側の駐車場も含めるとかなりの台数になると思うが、駐車場は広ければ広いほど市民は利用しやすい

い。一番クレームが出るのは駐車場である。乗り合わせで来てくださいますようお願いしていても 1 家族 1 台ないしは 2 台で来ることもあるのでよく検討したほうがよい。

- ⇒事務局 宗像ユリックス側に駐車場が 1, 000 台前後あり、これに新たに 400～500 台を加えて、相互利用するのが理想である。
- F 委員 市民レベルからの意見を言うと、市のバス等の公共交通機関の便数が増えたり、アクセスしやすくなったりするのか。宗像ユリックスにはバスの便数が少ないので行きにくいという意見をよく聞く。駐車場はもちろんだが、車を運転できない人もいるので、そちらの交通の足も充実してくれたらいいと思っている。
- ⇒事務局 中央公民館の機能をメイトムに移したときに、高齢者の利用者が多いということで、公共交通体系を検討したという経緯があるがなかなか充分にはできていないというのが現状である。宗像ユリックスでは、土日などに大きなイベントが開催される際には、東郷駅と宗像ユリックスをシャトルバスで繋いで、ピストン送迎を行っている。総合スポーツセンターでもそのような臨時的な対応は可能であると考えている。簡単に公共交通機関の便数を増やしますとは言えないが、スポーツを「する」場として各小学校の体育館利用の間口を広げ、それらの活動を総合スポーツセンターがフォローし、支えていくという役割を担っていくことが重要である。総合スポーツセンターが単なるスポーツをする場としてではなく、そういった役割も含めて市民に恩恵を与えられるよう考えていかなければならない。
- 会長 計画規模については本日の重要な審議事項である。計画規模は 10, 000 m²、各部門構成を見ると、現状よりも市民が使いやすく、スポーツに親しめる施設になっていると判断できるか。施設規模は妥当であると判断できるか。
- ⇒A 委員 各部門の面積の割合について、この場で何 m²足りないといった議論をすることは無理である。あまり細かい部屋割りを決めてしまうと計画作成の際に足を縛ってしまう。そのため、計画規模（概数）は、大きな分類でこの程度ということとしていいのではないか。
- ⇒会長 資料 6 までは審議いただいて成案に近いものとしてもう一度次回審議会で諮りたいと思う。今日の指摘を踏まえて、次回の審議会では資料 7・8・9 をより精査して事務局で資料を作成いただきたいと思う。

4 その他

- 次回審議会の日程調整を行った。
- ・ 日程については決まらなかったため、改めて連絡する。

5 閉会

【配布資料】

第4回 宗像市総合スポーツセンター整備審議会 会議次第

資料1：第3回 宗像市総合スポーツセンター整備審議会 議事録（要点）（案）

資料2：宗像市総合スポーツセンター基本構想

資料3：基本計画目次

資料4：敷地の条件

資料5：各部施設計画

資料6：計画規模（概数）

資料6－1：計画規模（概数）・既存3体育館規模比較表

資料6－2：総合スポーツセンターの主要室の考え方

資料7：アプローチ動線

資料8：建物構成比較表

資料9：各階平面図[参考]

以上